

環境リサイクル肉牛協議会第 24 回総会  
特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会第 15 回通常総会  
議事録

開催日時：6月9日(金) 13:00~15:00

開催場所：新得畜産試験場、zoom

出席者：現地 13 団体、モニター3 団体

1. 総会出席者確認

現地 13 団体、モニター3 団体の出席を確認

2. 会長 開会挨拶

左氏「皆様活発な意見をよろしくお願ひいたします。皆様が今後の肉牛生産の未来を背負っていると思  
ってどうかよろしくお願ひいたします。」

3. 議長選出、書記選任

議長を瀬野氏に任命

書記を北の牧場舎森下に任命

4. 議事

- 1) 第1号議案 2022 年度事業報告及び収支決算に関する件
- 2) 第2号議案 2023 年度事業計画及び収支予算に関する件
- 3) 第3号議案 そのほか  
役員改選

第 1 号議案

I. 2022 年度事業報告

1. 2022 年度会員募集 (2023 年 3 月末)

個人会員	19 名 (+3)	
団体会員	12 団体(±0)	合計 31
内訳)	生産者・生産者団体	11
	食肉流通業者	2
	消費者団体	1
	学研・指導機関	12
	飼料業者	4

2. 総会・理事会等の開催

- 1) 総会 2022 年度第 23 回(NPO 法人第 14 回通常総会 新得町 道総研畜産試験場 講堂  
議案書成立の要件 出席者 9 名モニター6 委任状 12:27/28 会員 96%総会成立  
・2021 年度事業報告・決算報告  
・2022 年度事業計画・予算  
以上 2 議案は了承される  
・役員改選なし 2021~2022 年度 2 年任期
- 2) 理事会(事務局会議)

- 第1回 2022年5月27日 ZOOM会議 4名 第23回総会&飼養技術研修会,
- 第2回 2022年9月6日 ZOOM会議 4名 シンポジウム
- 第3回 2022年10月5日 ZOOM会議 4名 シンポジウム
- 第4回 2022年11月4日 ZOOM会議 3名 シンポジウム事前打ち合わせ
- 第5回 2022年12月27日 ZOOM会議 3名 シンポジウム終了報告内容
- 第6回 2023年2月10日 ZOOM会議 6名 総会日程、次回シンポジウム 次年度人事
- 第7回 2023年4月18日 ZOOM会議 5名 シンポジウムテーマ 事務局体制 総会内容 次年度人事

### 3. 学術情報の収集と肉牛飼養技術研修会の開催 定款条1-②

#### 1) 学術情報の収集

関連加入団体 9ヶ所 年会費 35,500円

肉用牛研究会 (事務局/京都大学 年会費/5,000 団体窓口/左)

日本畜産学会 (東京 公益社団法人 4,000 左)

日本産肉研究会 (北里大学 FSC 八雲牧場 5,000 団体)

畜産システム研究会(京都大学畜産資源学 3,000 花房)

北海道畜産技術連盟(北海道酪農畜産協会 4,000 左)

北海道畜産草地学会(北海道大学 2,500 左)

北海道肉牛研究会 (道総研 畜産試験場 2,000 花房)

北海道アンガス牛振興協議会(内藤会長 0 花房)

北海道オーガニックビーフ振興協議会(帯広市 10,000 花房)

#### 2) 肉牛飼養技術研修会の開催

6月11日(土) 13:00~16:30 新得町 道総研 畜産試験場 講堂

肉牛飼養技術研修会 15人参加 WEB併用

① e-びーふ牧場(北の牧場舎)の飼養・肉質分析日 本獣医生命科学大 柴田昌宏教授

② 畜産試験場 糟谷氏 黒毛和牛ハイモイスチャーシェルコーン給与法

### 4. 第19回資源循環型肉牛生産シンポジウム2022 定款5定款条1-④

テーマ「脱炭素社会における畜産を考える」参加者：85名 モニター参加者25名

日時：2022年11月10日(木) 13:00-17:00 とかちプラザ(帯広市) 視聴覚室

共催：環境リサイクル肉牛協議会、北海道アンガス牛振興協議会

北海道短角牛振興協議会、北海道オーガニックビーフ振興協議会、帯広市

内容：

#### 1. 基調講演 「脱炭素社会における資源循環型牛肉生産」

北海道大学名誉教授 波多野隆介氏(土壌学研究室：環境循環型土壌生物微生物)

#### 2. 話題提供 1. (生産者) 「脱炭素循環牧場・地域を目指す」

放牧酪農家 十勝清水町 出田牧場 出田基子氏

話題提供 2. 「脱炭素循環牧場・地域を目指す 再生可能エネルギーを活用した

まちづくり」 鹿追町 環境保全センター担当課長 城石 賢一氏

話題提供3.「農地を守ろう！カバークロッププロジェクト」

東都生協商品部 部長補佐 吉澤 正義氏

話題提供3.「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」

司会 北海道酪農畜産協会 参事 山本裕介氏

講評 帯広畜産大学 教授 口田圭吾氏

授賞式 北海道酪農畜産協会 受賞生産者

3. パネルディスカッション 司会 石原隆司氏 パネラー：4 講演者

4. 意見交換会 eびーふ 試食会 ランチョ・エルパソ 37名+学生5名

5. 現地検討会 清水町 出田牧場、鹿追町 環境保全センター 25名



5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

1) 月刊情報誌「eびーふNEWS 北の牧場から」 毎月発刊 12回発行配信

2) ホームページ：インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

ホームページ <http://www.e-beef.jp/> 事務局アドレス kanrikyo@e-beef.jp

6. 「eびーふ」認証事業 定款5条1-①

- 1) 「e-びーふ」の商標登録10年間権利保持(2023年まで)今年更新

## 7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

- 1) 第12回 北海道肉専用種枝肉共励会 11/10 北海道畜産公社  
20頭出展 アンガス牛10頭 日本短角種10頭  
最優秀賞(知事賞) 青山商店 JAS有機 アンガス牛  
優秀賞 宮北牧場 アンガス牛  
赤身賞 北十勝ファーム シャロレー経産牛
- 2) 飼料事業の検討:e-びーふ事業化推進  
草薙農園/カルビーポテトポイルcと規格外小麦
- 3) アンガス飼養実態調査  
北海道アンガス牛振興協議会、北海道オーガニックビーフ振興協議会との連動  
道総研入札 11/25 アンガス牛14頭(8-10ヶ月例) 落札 3牧場にて飼養開始

ここまで意見なし

## 8. 2022年度収支決算報告

### 収入の部

項目		予算	決算	備考
1)会費・入会金	個人	90,000	102,000	今年度分15人6,000
	団体	130,000	130,000	今年度分14団体10,000
	入会金			
2)寄付金	シンポジウム協力金	90,000	90,000	北ア協、北短協、HOBA
	事業助成金			
3)助成金				
4)事業収入	普及活動事業参加	300,000	150,000	e-びーふ試食・意見交換会参加費
		80,000	224,000	e-びーふ格付56頭@4,000
5)その他の収入		0		有機JAS格付業務委託費
	受取利息	1	2	北洋銀行
6)前期繰り越し金		219,778	219,778	
合計		909,779	915,780	696,002

### 支出の部

科目		予算	決算	備考
事業費				
定款5条1①	e-びーふ認証事業費	50,000	0	e-びーふ農家経営事例調査立会い
定款5条1②	調査研究事業費	60,000	42,800	学会・研究会情報収集車両費
定款5条1③	肥育モデル作成事業	100,000	0	e-びーふ、アンガス肥育マニュアル

定款 5 条 1 ④	講演会開催事業費	280,000	457,349	シンポジウム、飼養技術研修会
定款 5 条 1 ⑤	機関誌発行事業費	110,000	129,646	機関紙発行/インターネット回線利用料
一般管理費	旅費・交通費	30,000		理事旅費・事務局交通費
	通信費	10,000	2,640	NTT 電話代、郵送料
	会議費	30,000	35,595	総会経費
	備品・消耗品費	10,000		
	賃借料	60,000		北の牧場舎
	手数料	60,000	62,646	会計処理料, 会計ソフト freee
	予備費	109,779		
合 計		909,779	730,676	-34,674
繰越金		219,778	185,104	
預金	北洋銀	355,290	355,290	
現金		5,495	6,500	
前払い費用		0	4,000	北海道畜産技術連盟 22 年度分
(小計)		360,785	365,790	
未収入金		0	0	会費未納
売掛金		0	0	
合計		360,785	365,790	
未払金				
仮受金		0	196,686	左先生預り金、過入金等
繰越金		219,778	185,104	
合計		219,778	381,790	

## 監査報告

2022 年度収支決算について監査の結果、各項目毎に正確・適正に処理されて

いる事を認めます。

2023/5/

監事 内藤 順介

意見、質問無し 賛成多数により第 1 号議案可決

## 第 2 号議案

### Ⅱ. 2023 年度事業計画

#### 1. 会員募集

目標会員数 35 名以上を目指す。

#### 2. 総会・理事会の開催

- 1) 2023 第 24 回総会(NPO 法人第 15 回通常総会)
- 2) 理事会、事務局会議 (ZOOM 含む) は必要に応じ開催する。

### 3. 学術情報の収集と飼養技術研修会の開催 定款5条1-②

- 1) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査および参加。
- 2) 自給飼料・副産物活用型牛肉生産に関する飼養技術研修会の開催。  
年 2 回開催は難しく 1 回に変更

### 4. 第 20 回資源循環型肉牛生産シンポジウム 2023 の企画・開催

定款5条1-④

シンポジウム「  
」(仮)

日 時：2023 年 11 月 9 日(木) 13:00-17:00

会 場：とちぎプラザ(帯広市) 2 階 視聴覚室

内 容：(13:00-17:00)

1. 基調講演 「農業の将来と展望」
2. 話題提供 1. 「実践例」氏  
話題提供 2. 「実践例」氏  
話題提供 3. 「活用事例」氏  
話題提供 4. 「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」  
司会 帯広畜産大学 教授 口田圭吾氏と受賞生産者
3. パネルディスカッション パネラー：講演者、消費者代表
4. 意見交換会 eびーふ 試食会 (18:00~) ホテルグランテラス帯広  
食味試験 (17:30~18:00) 帯広畜産大学 口田研究室主催

### 5. 現地検討会：11 月 10 日(金)

畜産試験場国重氏より説明

### 5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

- 1) 「eびーふ NEWS 北の牧場から」の月刊情報誌の編集・発信。年 12 回
- 2) ホームページ・インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

### 6. 「eびーふ」認証事業の活性化 定款5条1-①

- 1) 新たな eびーふ認証農家の発掘 内藤アンガス牧場、宮北牧場予定
- 2) 認証適格農場の実態調査
- 3) 「eびーふ」の商標の活用

### 7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

- 1) 飼料事業の検討：eびーふ事業化推進
- 2) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成  
→北海道アンガス牛振興協議会・北海道オーガニックビーフ振興協議会(HOBA)と連動

## 各牧場定期調査・分析・検討会の開催

## 8. 2023 年度予算案

## 収入の部

項 目		前年度決 算	予 算	備 考
1)会費・入会金	個人	102,000	108,000	今年度分 18 人 6,000
	団体	130,000	120,000	今年度分 12 団体 10,000
	入会金	0		
2)寄付金	シンポジウム協力金	90,000	120,000	北ア協、北短協、HOBA、北肉研
	事業協力金	0		
3)助成金		0		
4)事業収入	普及活動事業参加	150,000	150,000	e-びーふ試食・意見交換会参加費
	賦課金	224,000	240,000	e-びーふ格付 60 頭@4,000
5) その他の収入		0	0	
	受取利息	2	2	北洋銀行
6) 前期繰越し		219,778	185,104	
合 計		915,780	923,106	

## 支出の部

科 目		前年度決 算	予 算	備 考
事業費				
定款 5 条 1 ①	e-びーふ認証事業費	0	50,000	e-びーふ農家経営事例調査立会い
定款 5 条 1 ②	調査研究事業費	42,800	60,000	学会・研究会情報収集車両費
定款 5 条 1 ③	肥育モデル作成事業	0	50,000	e-びーふ、アンガス肥育マニュアル
定款 5 条 1 ④	講演会開催事業費	457,349	450,000	シンポジウム、飼養技術研修会
定款 5 条 1 ⑤	機関誌発行事業費	129,646	130,000	機関紙発行/インターネット回線利用料
一般管理費	旅費・交通費	0	30,000	理事旅費・事務局交通費
	通信費	2,640	5,000	NTT 電話代、郵送料
	会議費	35,595	30,000	総会経費
	備品・消耗品費	0	10,000	
	事務経費	0	30,000	北の牧場舎
	手数料	62,646	63,000	会計処理料, 会計ソフト freee
	予備費	0	15,106	
合 計		730,676	923,106	
差引		185,104	0	

仮受金		196,686	0	
繰越金		185,104	0	
合計		381,790	0	

年会費	個人	6,000
	団体	10,000
賦課金	e-びーふ格付/頭	4,000

意見、質問無し 賛成多数により第2号議案可決

### 第3号議案 その他

#### 1. 役員改選

宮北牧場 宮北輝氏を会長に選出  
事務局長に青山商店 青山次郎氏を選出する

#### 2. 協議会の運営体制

事務局体制

組織図

会長－事務局－e-びーふ news 編集局

↓

理事会

ポイント

- ・事務局の位置づけを行い、業務を担当別に行う  
事務局は、企画立案、実務の遂行を行う  
理事会は、会の決済機関とする
- ・事務局会議は、1 から2か月に 1 回 WEB にて行う 次回の日程を確認する  
理事会は不定期
- ・23 年度から

事務局・協議会の運営体制

- A) 総務担当 協議会の運営 (事務局)
- B) クラウド会計 freee 会計事務 (事務局/会計) NPO 法人会計  
外部委託：竹川会計事務所/担当 高橋
- C) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査 (左理事/瀬野)
- D) 飼養技術研修会の運営 (畜試)
- E) 資源循環型肉牛生産シンポジウムの運営 (畜試・事務局)



- F) e-びーふ news 編集・ホームページ担当 (e-びーふ news 編集局)
- G) 「e-びーふ」認定委員会 (畜試)
- H) 補助事業申請・運営 (事務局)
- I) アンガス飼養実態の調査分析検討会の開催(畜試・事務局)

事務局体制の充実：

畜試/岩上、国重、青山、北大/河合、渡島農業改良普及センター/堀内、北の牧場舎/森下 ほか 事務局に奈良岡氏入ることが決定

以上の事務局体制改定に反対意見なし 承認を得る

新理事長宮北氏挨拶「正直理事長にはふさわしくないと思っている。しかし本会を通じて様々なことを勉強させてもらった。その恩返しができるばと考えている。本事業がさらに注目され、学術的な面も含め多くの方にわかってもらえるような会を目指したい。2年間精一杯やらせていただきます。」

### 3. 肉牛事業について

- 1) e-びーふ経産牛の肥育事業；肉加工・販売まで

北大短角 e-びーふ、きの e-びーふ 月間 5 頭平均 年間 60 頭

意見、質問無し 賛成多数により第 3 号議案可決



左氏退任の挨拶「世の中変わってきている中、本会も世代交代をするべきである。私は体が動かず、現場に行けない中、机上の論でしか発信できなかった。現場を見ている人が現代に合った資源循環型の畜産をしていくべきである。長い間大変お世話になりました。今後もやれることをやっていきたいと思っております。

総会后 肉牛飼養技術研修会

宮北牧場 アンガス牛枝肉 600 kg生産の挑戦

宮北輝 新会長